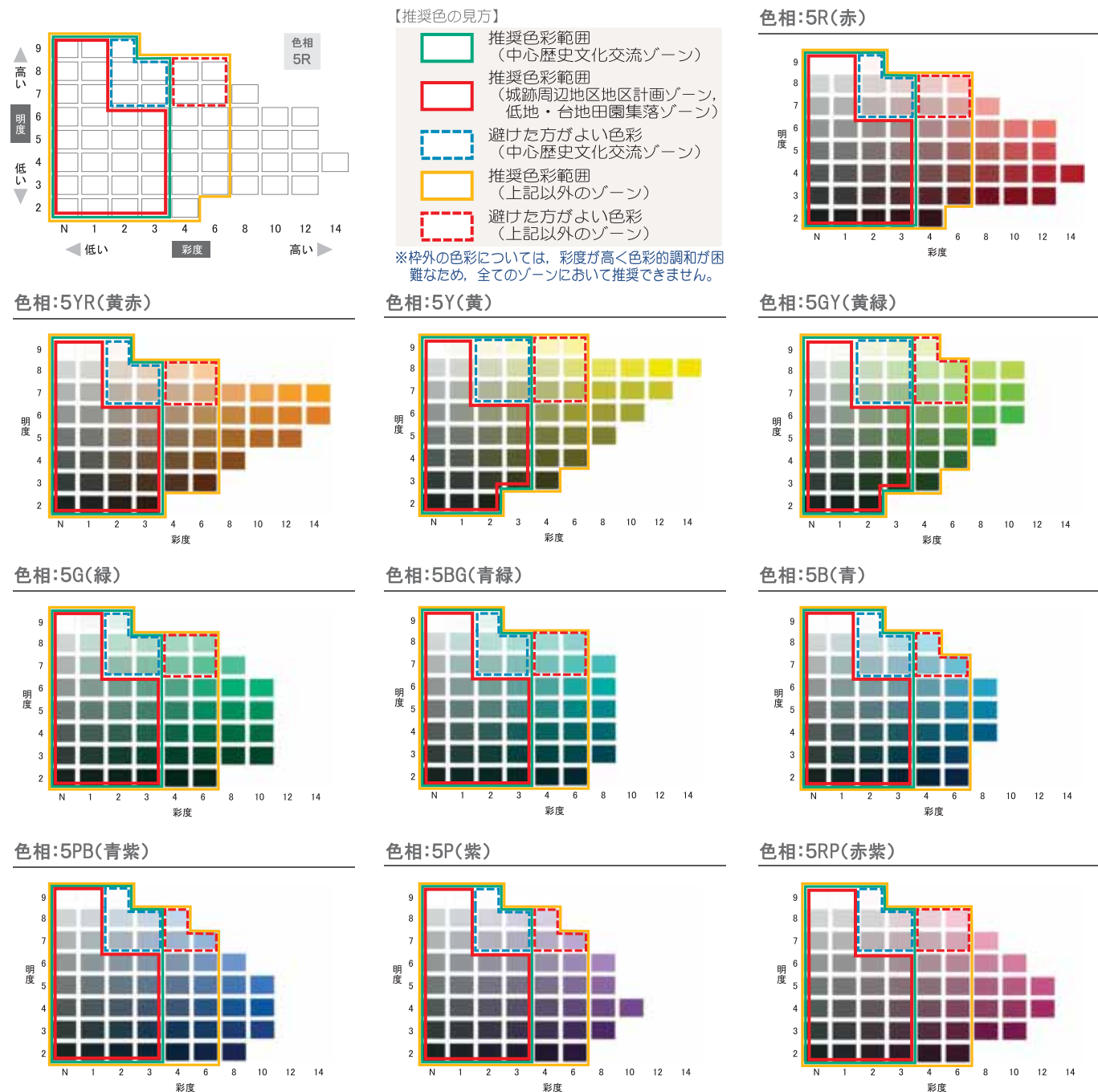


5 色彩ガイドライン誘導イメージ

※この色相表は、印刷による色再現のため、実際のマンセル値とは異なります。
 ※ここに示す色相は、各色相の中間となる色相を例示しています。

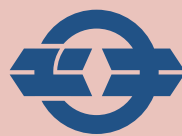
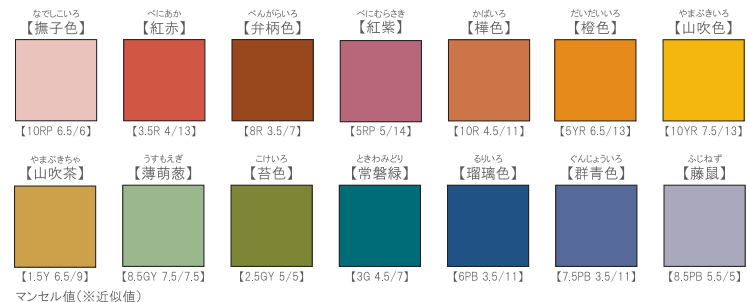
景観形成においては、建築物の壁面や屋根の色彩あるいは屋外広告物の色彩の使い方が重要になります。建築物の壁面や屋外広告物に使用する色彩は、周辺の景観との調和に配慮しながら、できる限り落ち着いた色調となるよう、以下に示す色彩イメージを参考に選定するよう努めましょう。



6 伝統色の例 (強調色として用いる推奨例)

アクセントとなる強調色は、原則として低層部に小さく使用し、使用する色彩相互の調和に十分配慮しましょう。

強調色には、本場結城絨に見られるような、しっとりとした落ち着きのある色をイメージして、できる限り例に示すような伝統色を採り入れましょう。



活かして 魅せる 育てて つなぐ
結城の景観まちづくり



結城市総合景観形成ガイドライン【概要版】

平成27年3月 茨城県 結城市

1 景観形成ガイドラインとは

● 市民・事業者・行政が協働で進める景観まちづくりのためのルール

地域資源を活用した結城らしいまちづくりや、落ち着いたある景観・街並みづくりに向けては、市民・事業者・行政が、ともに協調・協働しながら結城市の個性を生かし守り、育む景観づくりに取り組む必要があります。

そこで、本市において、地域特性や実情に応じた効果的な景観まちづくりを進めていくため、建築物や工作物、屋外広告物等の位置や形態・色彩等についての配慮事項を「結城市総合景観形成ガイドライン」としてまとめたものです。

2 景観形成の基本目標

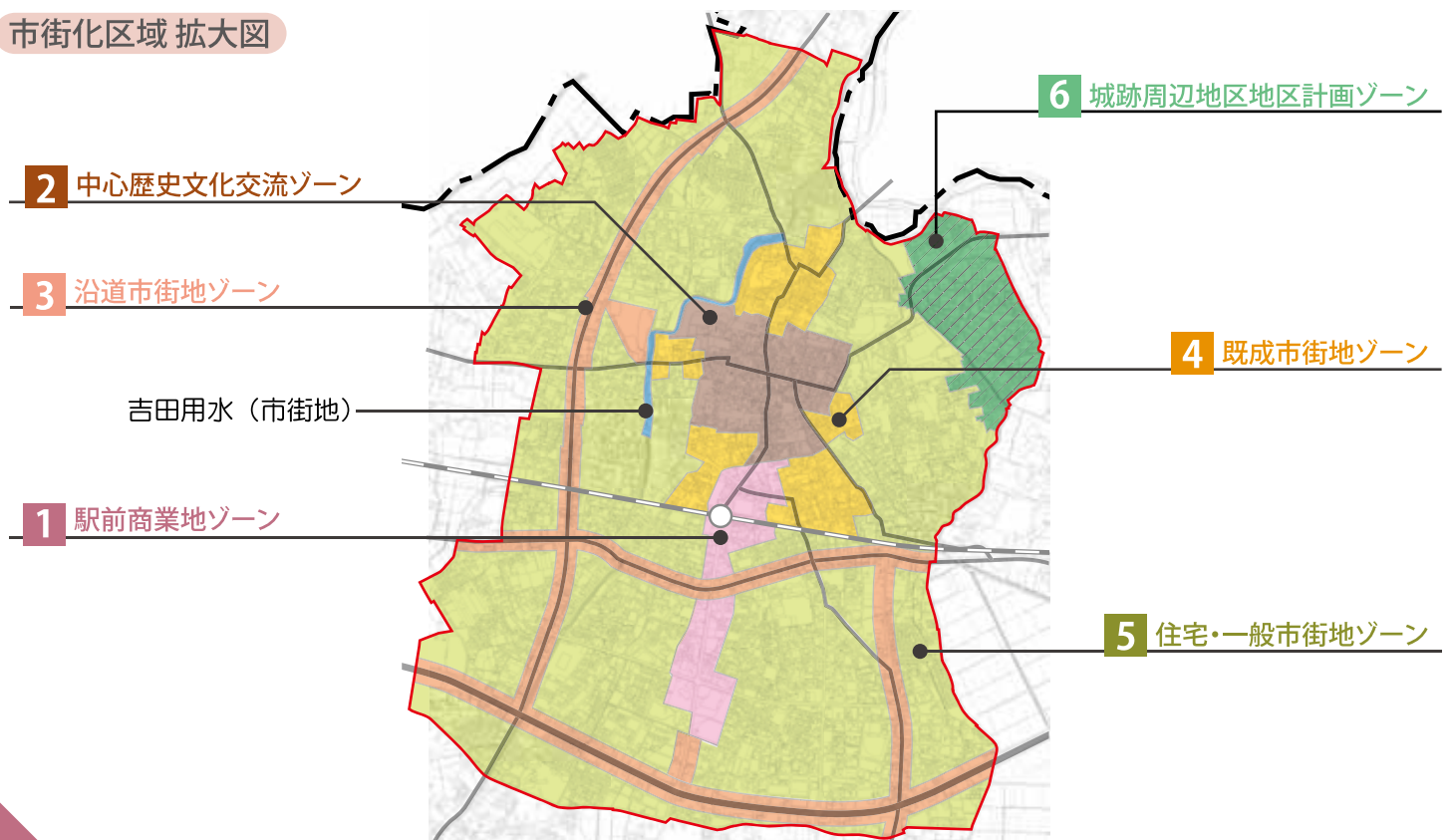
景観形成の基本目標を次のように掲げます。

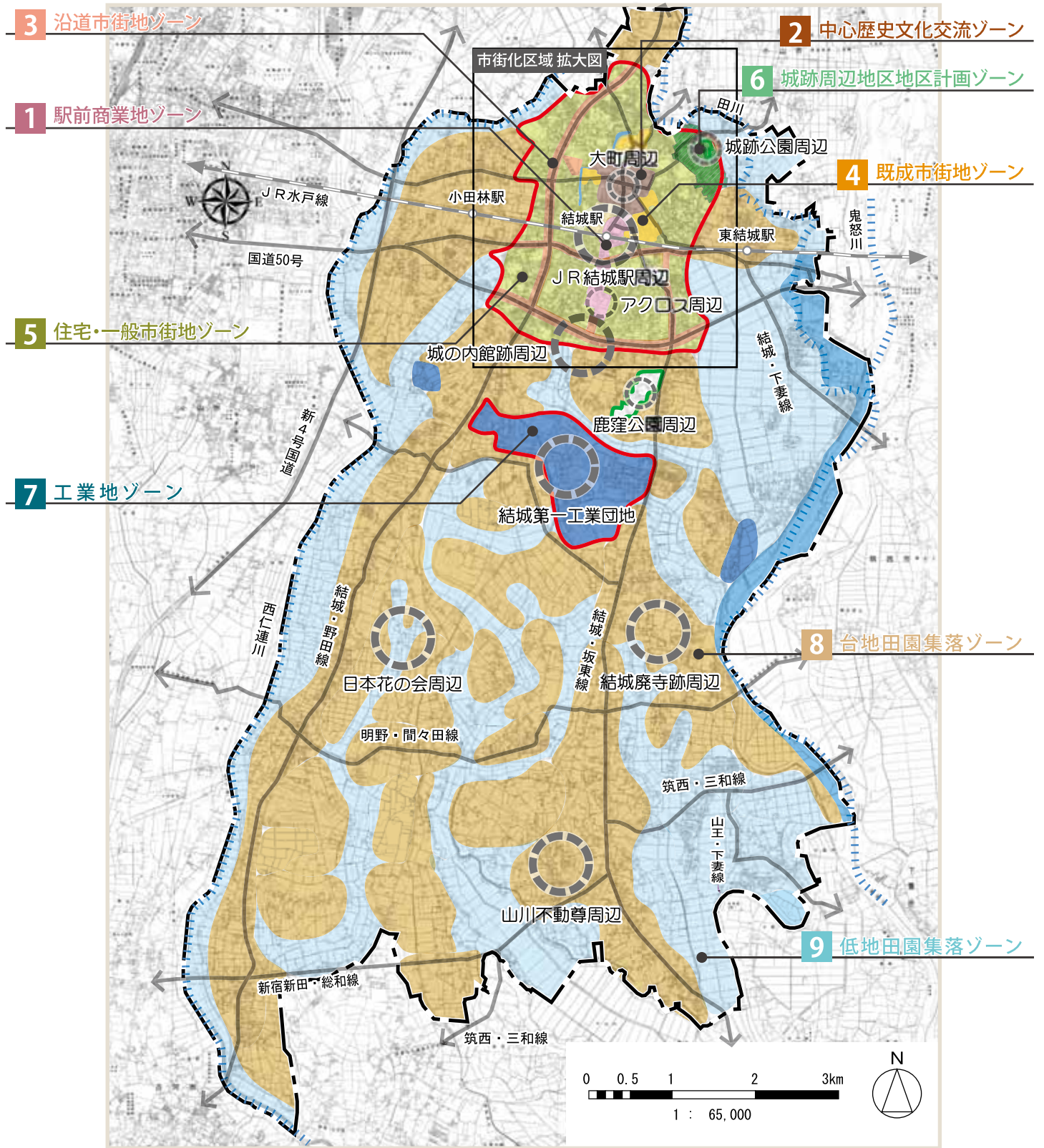
- 自然や筑波山と調和した水と緑あふれる景観づくり **自然景観**
- 地形や農地・山林を生かしたのびやかな景観づくり **田園景観**
- 歴史・文化を伝える風格ある景観づくり **歴史・文化景観**
- まちなかの魅力とにぎわいある景観づくり **中心商業地景観**
- ゆとりある心地よい景観づくり **市街地景観**
- 人の営みを感じ・継承する景観づくり **集落景観**
- メリハリのある景観づくり **シンボル景観**
- みんなで守り・つくり・育てる景観づくり **市民協働**

3 景観区分の体系

土地利用の現況や特性などから、右の全体図に示すように区分します。

市街化区域 拡大図





市域
市街化区域
拠点
主要道路
鉄道

面的景観
1 駅前商業地ゾーン
4 既成市街地ゾーン
7 工業地ゾーン

2 中心歴史文化交流ゾーン
5 住宅・一般市街地ゾーン
8 台地田園集落ゾーン

3 沿道市街地ゾーン
6 城跡周辺地区地区計画ゾーン
9 低地田園集落ゾーン

線的景観
道路軸
河川軸

拠点の景観
1) 大町周辺 (歴史的街並み)
6) アクロス周辺

2) 城跡公園周辺
7) 鹿窪運動公園周辺

3) 山川不動尊周辺
8) 結城第一工業団地

4) 結城廃寺跡周辺
9) 城の内館跡周辺

5) JR結城駅周辺
10) 日本花の会周辺

4

景観区分ごとの景観形成ガイドライン（抜粋）

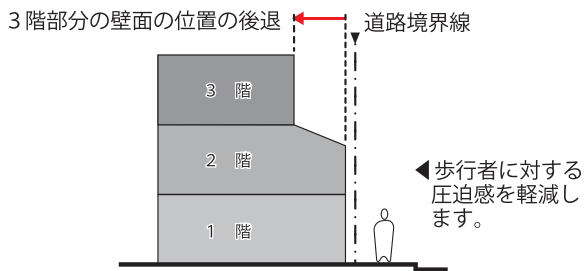
景観区分ごとに、それぞれの景観形成ガイドラインを示します。

景観形成ガイドラインの適用対象となるのは、建築物の位置や色彩、工作物の高さや形態等、屋外広告物の設置位置や色彩、緑の保全や創出、その他建築設備や駐車場などです。

1 駅前商業地ゾーン

■ 壁面の位置【3階以上の壁面の後退】

○原則として、県道結城停車場線沿道に面する建築物の3階以上の壁面の位置は、道路境界線から一定限後退させましょう。



■ 色彩【効果的な強調色(アクセントカラー)】

○原則として、低層部に小さく使用し、使用する色彩相互の調和に十分配慮しましょう。

■ 駐車場・駐輪場【道路に面する部分】

○できる限り、緑化に努めましょう。

■ 色彩【コーポレートカラー】

○できる限り、彩度の高い色彩を大面積で用いることは避けましょう。

■ 沿道緑化【魅力ある景観形成】

○できる限り、店先などにフラワーポット等を設置しましょう。

■ 敷地内緑化【うるおいある景観形成】

○敷地規模に余裕のある場合は、できる限り敷地内の緑化に努めましょう。

■ 建築設備等【景観的配慮】

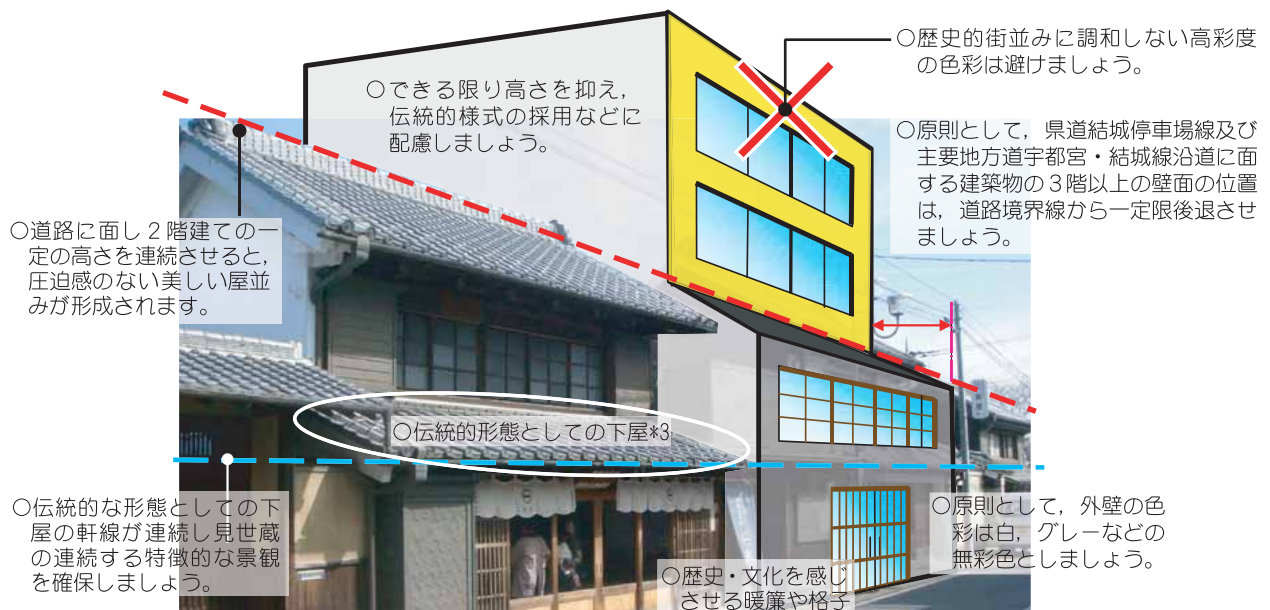
○できる限り、外壁や屋上などに設ける設備が目立たないように配慮しましょう。

■ 照明等【夜間景観】

○壁面等のライトアップ、ディスプレイの照明などを工夫しましょう。

2 中心歴史文化交流ゾーン

■ 歴史的景観に配慮したデザインの考え方【壁面の位置・高さ・形態・外壁の色彩等】



※ここに示すのは、建築物の高さや色彩等のイメージについて解説するため描いたものです。

■ 門・塀等の形態意匠等【景観的調和】

○門、塀等を設ける場合は、形態意匠、素材、仕様等に配慮しましょう。

■ 駐車場・駐輪場【景観への配慮】

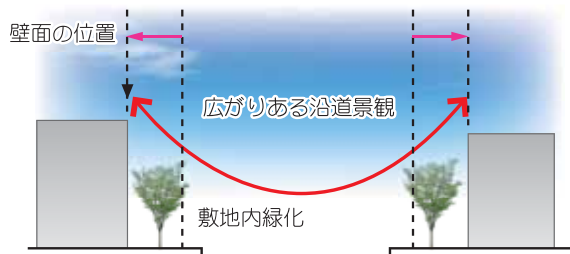
○やむを得ず道路に面して設置する場合は、その見え方に配慮しましょう。

3 沿道市街地ゾーン

■ 壁面の後退

【広がりのある沿道景観の形成】

○道路境界線から一定限後退させましょう。
(約1m程度)



▲できるだけ壁面の位置を後退させ、広がりある沿道景観を確保するとともに、後退した空間には積極的な緑化修景を図りましょう。

■ 敷地内緑化【うるおいある景観形成】

○敷地規模に余裕のある場合は、できる限り敷地内の緑化に努めましょう。

■ 形態意匠

【落ち着いたある良好な沿道景観の形成】

○原則として、奇抜な形態は避け、隣接する建築物同士の形態的調和に努めましょう。

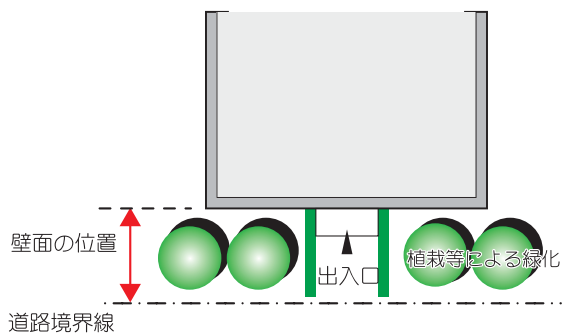
■ 色彩【建築物との調和】

○できる限り、建築物の色彩との調和に配慮した色彩を用いましょう。

4 既成市街地ゾーン

■ 壁面の位置【ゆとりの空間確保】

○道路境界線から一定限後退させましょう。
(約1m程度)



▲壁面の位置を道路境界線からできるだけ後退し、植栽等を行いましょう。

■ 形態意匠

【落ち着いたある市街地景観の形成】

○原則として、奇抜な形態は避け、隣接する建築物同士の形態的調和に努めましょう。

■ 外壁及び屋根の色彩

【落ち着いたある市街地景観の形成】

○原則として、原色や蛍光色、パステルカラーを避け、できる限り低彩度となるよう努めましょう。

■ 垣・柵【歴史・文化景観との調和】

○できる限りブロック塀の設置は避け、生垣やデザイン性に配慮した透過性のあるフェンス等としましょう。

■ シンボルツリー

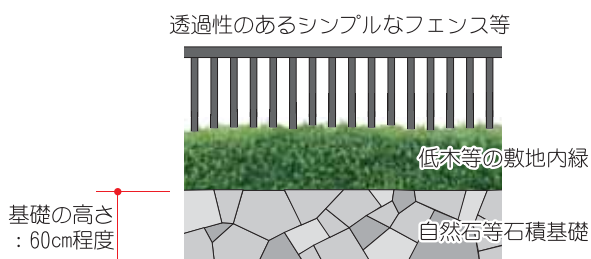
【個性とうるおいある街角空間の確保】

○できる限り、交差点部に位置する敷地内には、シンボルツリー等を配置しましょう。

5 住宅・一般市街地ゾーン

■ 垣・柵【歴史・文化景観との調和】

○できる限りブロック塀の設置は避け、生垣やデザイン性に配慮した透過性のあるフェンス等としましょう。



■ 敷地内緑化【うるおいある景観形成】

○敷地規模に余裕のある場合は、できる限り敷地内の緑化に努めましょう。

■ 駐車場・駐輪場【うるおいある景観形成】

○できる限り緑化に努めましょう。

■ 形態意匠

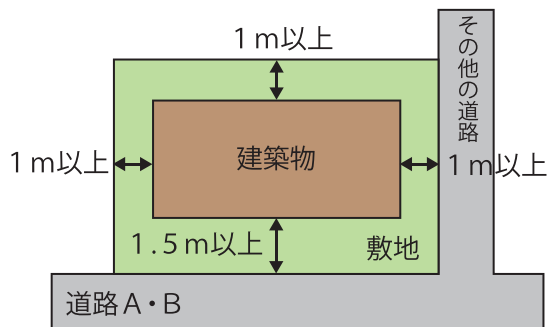
【道路に面する部分の沿道景観等への配慮】

○住宅地として魅力あるデザインとなるよう配慮しましょう。

6 城跡周辺地区地区計画ゾーン

■ 壁面の位置【ゆとりの空間確保】

○道路境界線から一定限後退させましょう。



▲壁面の位置が定められています。例) お屋敷ゾーン

■ 屋根の形態【歴史・文化景観との調和】

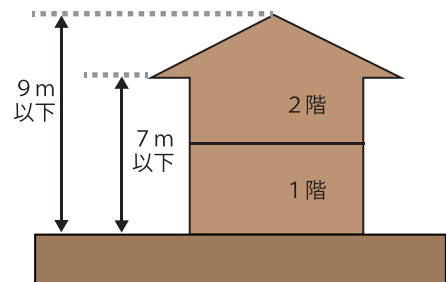
○屋根は勾配屋根とし、周辺の歴史的な景観と調和するデザインに努めましょう。

■ 垣・柵の高さ・形態等

【歴史・文化景観との調和】

○道路に面した部分は、生垣・板塀・竹垣・築地塀など自然素材とし、コンクリート・ブロック塀・ネットフェンスは設置できません。

■ 建築物の高さ【低層中心の良好な景観】



原則的に2階以下で、最高の高さが9m以下、軒の高さが7m以下です。

▲建築物の高さの上限が定められています。
(※第1種住居地域の建築物の最高の高さは10m以下)

■ 外壁及び屋根の色彩

【落ち着いた色のある市街地景観の形成】

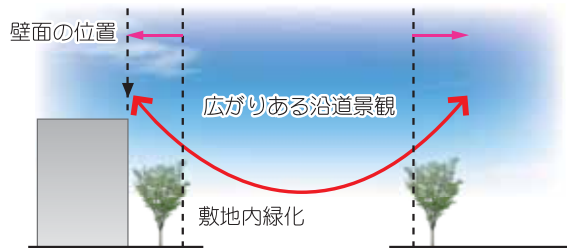
○原則として、落ち着いた色彩として、できる限り低彩度となるよう努めましょう。

7 工業地ゾーン

■ 壁面の後退

【広がりのある沿道景観の形成】

○道路境界線から一定限後退させましょう。
(約1m程度)



▲できる限り壁面の位置を後退させ、広がりある沿道景観を確保するとともに、後退した空間には積極的な緑化修景を図りましょう。

■ 外壁及び屋根の色彩

○原則として、原色を避け、できる限り低彩度となるよう努めましょう。

■ 垣・柵【田園集落・自然景観との調和】

○生垣やデザイン性に配慮した透過性のあるフェンス等としましょう。

■ 形態意匠

【落ち着いた工業地景観の形成】

○原則として、奇抜な形態は避け、隣接する建築物同士の形態的調和に努めましょう。



▲壁面の分節化で圧迫感を緩和し、周辺との調和を図った建築物の例

■ 敷地内空地の緑化

【ゆとりある景観形成】

○敷地規模に余裕のある場合は、できる限り敷地内の緑化に努めましょう。

8 低地田園集落ゾーン

■ 位置・配置

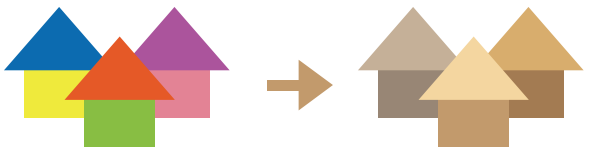
【田園の広がりや河川空間との調和
・まちなみの連続性の配慮】

- 田園景観や河川，平地林等との緑との調和，集落のまちなみの連続性に配慮しましょう。

■ 外壁及び屋根の色彩

【落ち着いたある田園集落景観の形成】

- 原則として，原色や蛍光色，パステルカラーを避け，周辺の自然環境や田園集落景観に調和させるため，できる限り低明度・低彩度となるよう努めましょう。



彩度の高い建物は，個々が主張しすぎ，全体でまとまりがありません。

彩度を抑え色調を同調させると，個々に違う色でも全体で調和します。

9 台地田園集落ゾーン

■ 垣・柵

【落ち着いたある田園集落景観との調和】

- できる限りブロック塀の設置は避け，生垣・石垣・板塀・竹垣やデザイン性に配慮した透過性のあるフェンス等としましょう。

■ 屋外広告物の色彩

【自然・田園集落景観との調和】

- できる限り，彩度の高い色彩を大きな面積で用いることは避けましょう。

■ 地域特性や歴史・文化資源の保全・活用

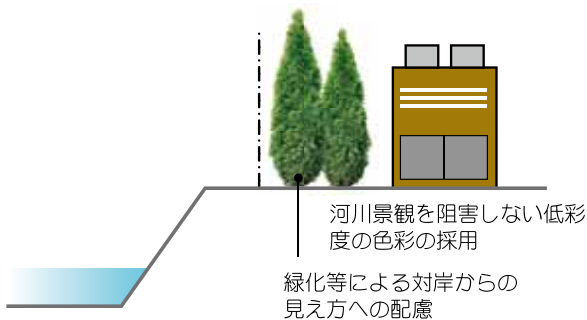
【田園景観や集落のまちなみとの一体感】

- 田園集落の地域特性を大切にし，周辺の景観やまちなみの連続性に配慮しましょう。

河川軸（河川景観ゾーン）

■ 河川や緑道に接する敷地に設置する際の工夫【河川景観への配慮】

- 河川や緑道に接する敷地に設置する工作物の配置や形態意匠，色彩については，河川や緑道からの見え方に配慮しましょう。



■ 自然護岸や親水空間の創出【貴重な自然資源としての保全・活用】

- 吉田用水は，貴重な自然資源としての保全に努めながら，歩行者路の整備や自然と調和した護岸整備，また，水とふれあえる親水空間の創出に努めます。



道路軸

■ 都市の景観骨格軸

- 幹線道路は，沿道の空間の特性に応じた良好な道路景観の形成を図りましょう。

